

城取博幸の
米沢のスーパーマーケット見聞録

N0142

2021年4月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

米沢のスーパーマーケット見聞録

二本松から米沢へ(21年4月末)

福島駅前



福島で乗り換えて米沢へ



米沢行き普通列車



駅の蕎麦屋さんで
天ぷらが手揚げでおいしい



こんな鉄橋を渡る
4月でまだ新芽が出ていない



米沢駅

米沢牛の像



上杉鷹山(1751年～1822年)

「なせばなる なさねばならぬ何事も なさぬは人のなさぬなりけり」

ケネディが最も尊敬した人物

ケネディにアメリカの日本人記者が「日本で一番尊敬する人物は誰ですか？」と尋ねたところ

ケネディはずばり「上杉鷹山」と答えた

その時記者は上杉鷹山の名前を知らなかった

慌てて日本に伝え、国会図書館で調べ情報を集めたという

鷹山は17歳で高鍋藩から米沢藩9代藩主に

当時の上杉家は120万石から15万石に減封されたにもかかわらず、家臣6千人を抱えていた

鷹山はどう改革したのか

鷹山の改革を一言でいえば「武士」を「農民」に変えたこと

「士農工商」という階級が安全に崩れた

地方のスーパーマーケットも売上が年々下がっているのもかかわらず、

古い考えの家臣を抱えて改革ができないでいることはないだろうか



【読書】上杉鷹山



これは勉強になります

詳しくは

【読書】上杉鷹山 ケネディ大統領が最も尊敬した人物 人心をつかむリーダーの条件 www.youtube.com



ホテルにチェックインし、夕飯を買いにヨークベニマルに歩いて向かう
途中の古い建物は学校になっている



ヨークベニマル米沢門東町店



米沢にはヨークベニマルは4店舗

山形県米沢市の人口は約 8.1 万人
ベニマルは町の 4 カ所を抑えている



駐車場脇の米沢牛・山懐料理「吉亭」



古い建物であることからベニマルの地主さんの可能性も高い
後日訪れる予定



店内の掲示「一人のお客様に誠実を尽くせ
これが 野超え 山越えの精神である」



スーパーマーケットは食のライフライン 米沢は江戸時代の飢饉に餓死者を出さなかった
天明の大飢饉(1782年～1787年) 天保の大飢饉(1833年～1839年)
米をなるべく温存し、山菜や野草などの「かてもの」を米に混ぜて食べた



青果売場 4月末に視察



「ふきたけのこ水煮」298 円



ふきのとうと山菜の水煮 398 円

こんな商品が米沢の特徴か



角の縦陳は赤かぶ漬け 298 円

赤い商品はよく目立つ



チルドのハムカツとアメリカンドッグ



あなご蒲焼 298 円



ミールキットと味付け肉 2 パック 980 円



サラミといかポー 580 円



プラントベース売場

売場は前に比べて2倍になっている

プラントベースはブームで終わらない

プラントバターやチーズなど、乳製品の代用品も販売されるようになった

シアトルのホールフーズはプラントベース売場を24尺確保



隣はサラダチキン



チルド平ケース

大陳商品は思わず手が出てしまう



惣菜の揚げ物売場



いかゲソ天



白身魚フライのタルタル



柏餅



ホテルに帰る途中

「教え子を再び戦場に送るな！！」 米沢市教職員組合



宿泊したホテル



購入商品 トータル 3787 円

いつも同じようなものを買ってしまう

カットパイ 198 円(本体価格)



セブンプレミアム よくばりサラダ 192 円(税込み価格)
ドレッシングは別売り 22 円



海鮮丼うどんセット 450 円(本体価格)
丁寧につくられている



手盛りおぼろ 105 円(税込み)



山形のだし 213 円(税込み)



早速、冷しうどんにかけて



ぺそら漬け 354 円(税込み)

細長い茄子の発酵漬物

すっぱくてけっこう辛い、病みつきになる

山形に行くたびに買っている商品



こうじ納豆 422 円(税込み)

これはそのまま食べられるので便利



あなご蒲焼 321 円(税込み)

残念ながら私が期待したほどのものではなかった



ディップフライドチキン 213 円(税込み)

ハニーマスタードディップ まだ食べていないが



毎朝爽快 清涼飲料水 95 円(税込み)

パッケージの表示に思わず買ってしまった



グレープフルーツ 224 円(税込み)

100%果汁はこれしか飲まない 後味の苦さが好きだ



柏餅 みそあん 324 円(税込み)

味噌あんの柏餅は珍しい



フレンチクルーラー 127 円(税込み)

チルド保存のドーナツ 冷えていてもおいしい



抹茶入り玄米茶

最近ではコーヒーより日本茶を飲むようになった



青果売場の旬の打ち出しは見事だが

毎月ヨークベニマルを見ているせいかあまり変わっていないように思う

PB のセブンプレミアムはセブンイレブンにもあるためか

見慣れているせいか「刺激」「驚き」が少なくなっているように感じた

米沢特集(21 年 4 月末)

米沢のホテルの豪華な朝食

左上はハムエッグと生野菜



煮物、豆腐、鮭



鮭のハラスは皮がパリパリ
鮭は皮と身の間が脂が乗り一番おいしいところ



納豆、お浸し、漬物

栄養バランスはよいが

頂いて感じたことは、納豆、豆腐、焼きのり、お浸しなど醤油をかけるメニューが多いため塩味が強い



上杉の城下町図



上杉神社に向かう道

左が上杉博物館 開館まで時間があるので近くを散策



案内版



秦逸三(はたいつぞう)像



1880 年、広島県安芸に生まれる

わが国で初めて化学繊維を(レーヨン)を作り出す

1918 年、米沢で帝国人造繊維株式会社(帝人)が産声をあげる



上杉鷹山公像





慰霊碑

太平洋戦争慰霊碑

ちなみに、海軍大将「南雲忠一」は米沢の出身



米沢市上杉博物館



上杉鷹山の生涯



歌舞伎舞台

移動式になっている



館内の展示



戦国時代～明治維新までの歴史

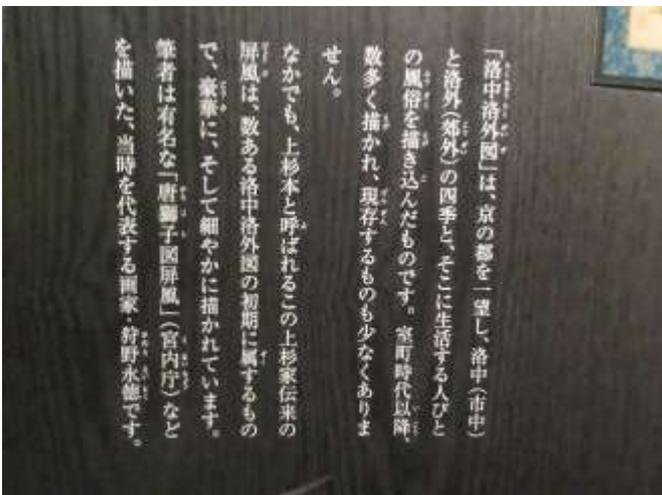


重要文化財「洛中洛外屏風」 嘉納永徳作

1574年、織田信長から上杉謙信に贈られたものと言われている



室町時代の京都の様子が描かれている



上杉謙信



説明文



直江兼統



上杉景勝

謙信の死後、家督争いで「景虎」と戦い勝利する

秀吉のの五大老であったが、家康時代の 120 万石から 30 万石(後に 15 万石)に減封され米沢に移る

改易寸前まで行ったが、会津藩主「保科正之」の口添えにより上杉家は存続



上杉景勝 武骨な武将の生涯
とは? :

詳しくは

上杉景勝 武骨な武将の生涯とは? 上杉景勝に関する簡単な解説動画です。チャンネル登録はこちら
から https://www.youtube.com/channel/UCMSnJlisFeDnaXpPxi2ltw?sub_confirmation=1【関連動画】笑わない武

将。上杉景勝の武骨な生涯【前編】【二世武将】<https://www.youtub...> www.youtube.com



伊達氏と上杉氏

伊達政宗は米沢に生まれ 24 歳まで米沢で過ごす



勢力マップ



置場歴史道



米沢で活躍した人々

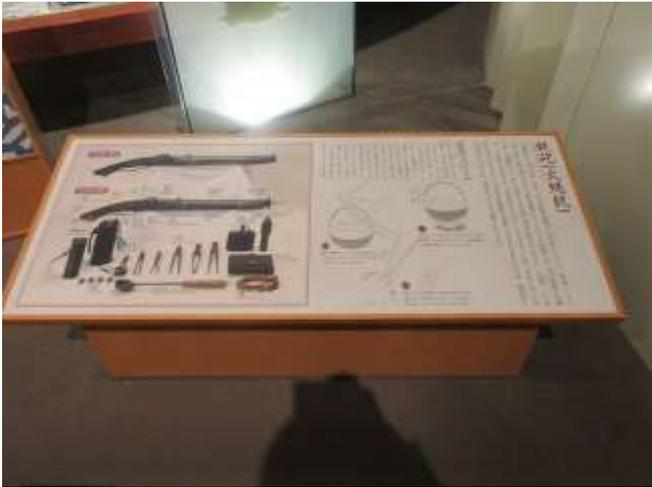


戊辰戦争

1868年4月「江戸城無血開城」により東山道に波及
米沢藩は、かつての保科正之への恩義にあることから、会津藩と新政府軍の仲介に努めた
5月に「奥羽越列藩同盟」加わり、仙台藩と共に戦う
9月会津藩、仙台藩は降伏



戊辰戦争当時の武器



庶民の生活



広葉樹林に広がる里山の風景



農家の建物と畑



町の様子 中央に川が流れている



上杉鷹山の儉約

左が鷹山の夕食、右が一般藩主の夕食



鷹山は「一汁一菜」を基本とした



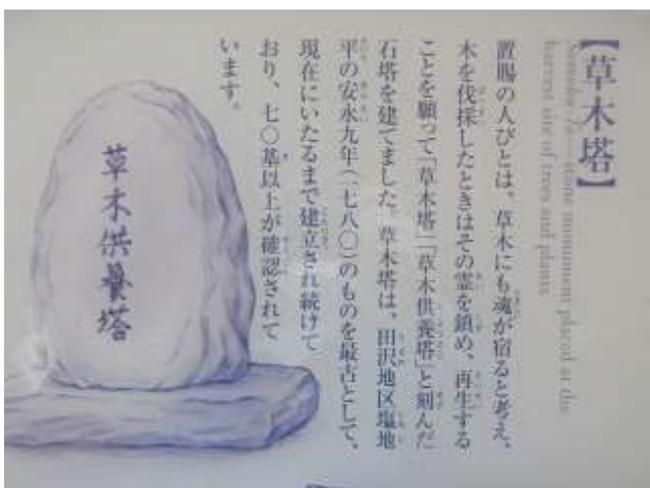
置場の庭



そこで野草、薬草を育てた



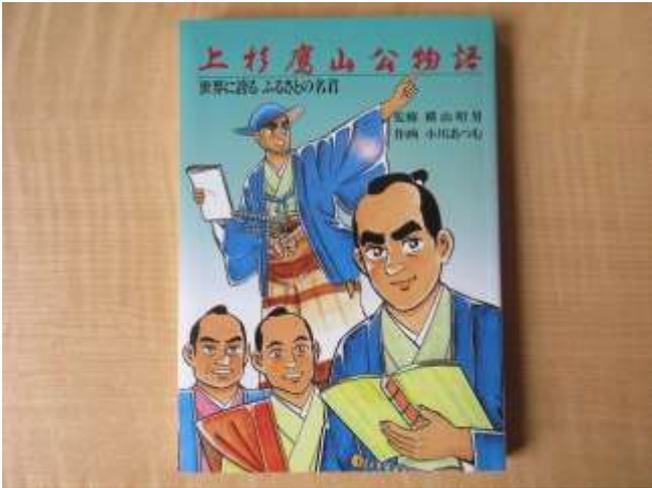
草木供養塔 動物の供養塔はまずらしいが、草木は珍しい



米沢の観光案内



マンガ上杉鷹山物語 サッと読むにはマンガがいい



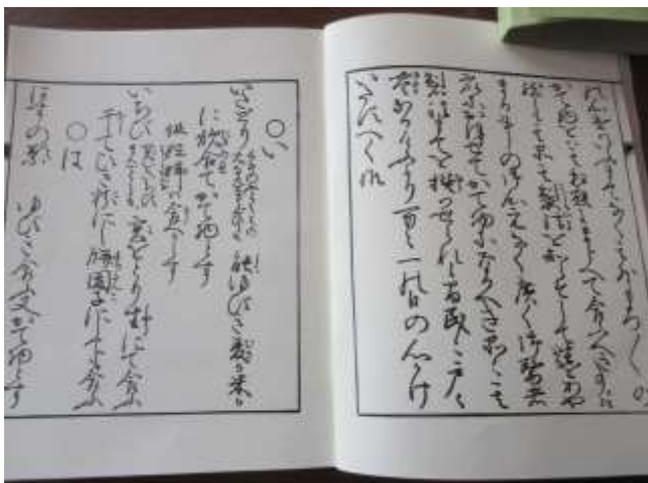
かてもの原書 3300 円 米沢藩は江戸の飢饉に一人も餓死者を出さなかったと言われている



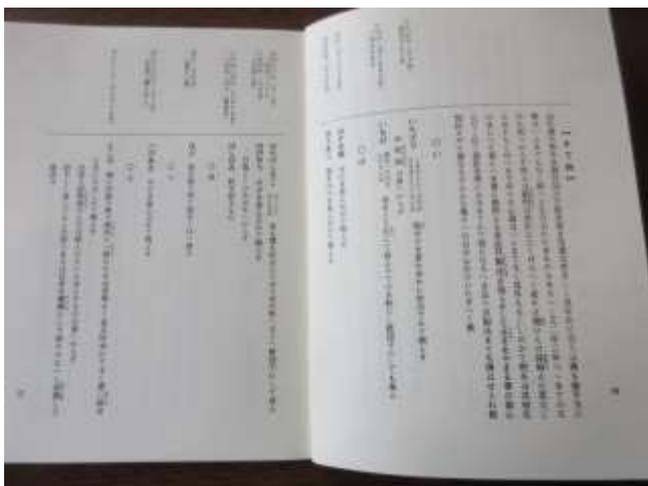
2冊と表紙



原文の内容 これを領民に無償で配った



現代訳 今はインターネットで殆ど調べられるが、当時としては画期的なものであった



「置場の庭」の再現



小さな小屋が



中は四畳半ほどのスペース 左が囲炉裏で右は水場か



記念碑



野草、薬草畑



平洲つばき



上杉家第十七代当主が植えた「雪椿」「平洲椿」として認定登録された



上杉神社に向かう
米沢上杉神社の参道



山形名物「玉こんにゃく」の屋台
これは食べておかないと



生芋こんにゃくの串刺しを醤油で煮て、辛子をつけて食べる



生芋の弾力のある食感がいい

辛子との相性もいい



堀の橋



米沢城の堀



上杉謙信祠堂



江戸時代、上杉謙信の遺骸を安置した場所

上杉景勝が会津 120 万石、米沢 30 万石に移封されると、上杉謙信の遺骸をここに安置した謙信遺骸の両端には、「善光寺如来像」と「泥足毘沙門象」が置かれた

明治 9 年、歴代藩主が祀られてる「上杉廟所」に移された

信濃の善光寺如来像がここに？

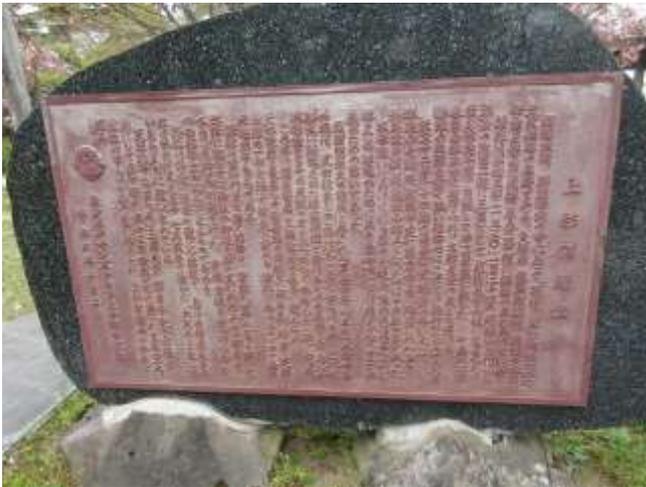
武田信玄も持ち出したが、その後不運が続いた秀吉が善光寺に返したという



上杉謙信像



説明文



伊達政宗生誕の地碑



これは

上杉景勝公と直江兼続公主従像



天地人 二人の結束は固い絆で結ばれ、「義と愛」の心で領国経営にあたり、米沢藩 270 年にわたる治政の礎を築いた



米沢ゆかりの戦国武将



上杉鷹山像



有名な言葉



説明文



上杉鷹山の4つの改革 鷹山が藩主になった時、藩の借金は16万両



農民の生活は苦しく、米沢を離れる農民が増えていた



改革① 代倅約で出費を抑える



奥女中を 90 人から 9 人に
鷹山自ら儉約に努め、藩主の経費を八分の一に削減



改革② 財政収支の明細を明らかに



一年ごとに収支明細書をつくらせる



改革③ 藩士を土木工事業に動員



大家から小家になっても藩士の数は変わらなかった
藩士を土木事業に動員させ開墾を行った
中にはそれが許せず切腹した家臣も



改革④ 収入を増やす

儉約だけでは藩の財政はよくならなかった



ろうソクの原料(ろう)、和紙の原料(こうぞ)、蚕の餌(桑)



反物の生産



その結果

借金 16 万両を完済 5 千両の蓄え

現在の行政改革にも参考になる



招魂日



戊辰戦争で、主に新潟地方で西軍と激戦の末に戦死した米沢藩士 280 余名
1877 年、西南戦争の戦死者(政府軍)52 名
日清、日露戦争の戦死者も合祀されています



上杉神社参道



ここでお参り



菊の紋の瓦



1578年3月15日 上杉謙信は春日山城に49歳で急逝され、遺骸は城内に仏式で埋葬された
二代藩主景勝がここに謙信を祀る神社を建てた



宝物殿の隣に「赤穂事件殉難追悼碑」

なぜここに？ 米沢藩 4 代当主は、吉良上野介義央の長男であった



吉良家終焉の地は、信濃上諏訪「法華寺」(5 月訪問)



吉良家の墓



宝物殿 上杉家の貴重なものを展示 中は撮影禁止



戦国時代の勢力図



目の前の池



合鴨



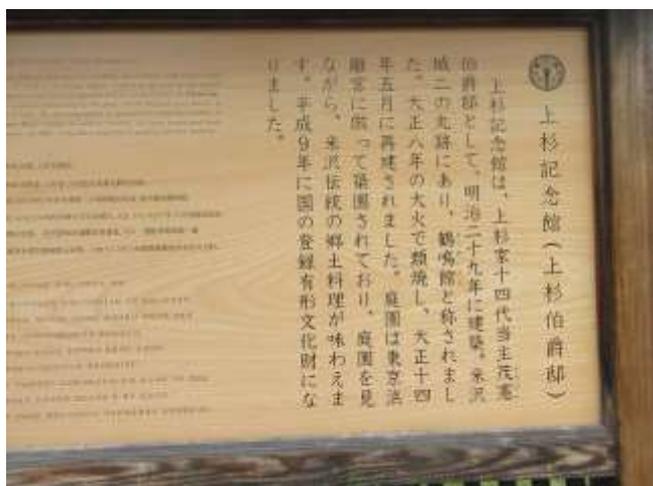
上杉伯爵邸跡



十四代当主重憲(しげのり)伯爵邸として明治 29 年に建築



現在は料亭になっている



入口



残念ながら定休日であった



米沢鯉料理



鯉の甘露煮



棒鱈煮 米沢は海がないため川魚や乾物料理が発達



塩引寿司 塩漬けした鮭の押し寿司



残念ながら売り切れ



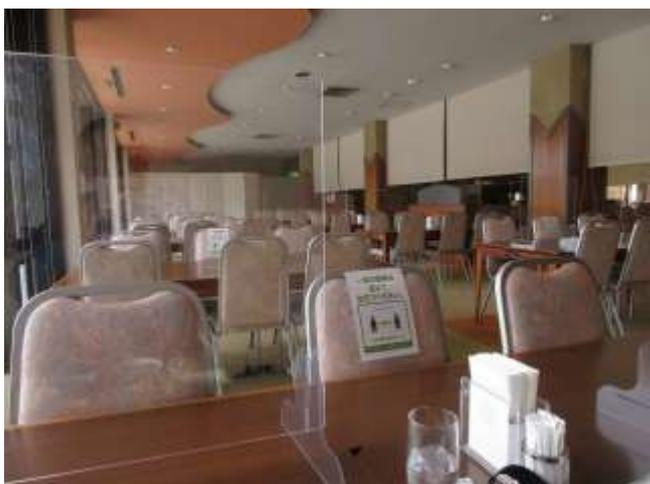
土産物センターへ



館内



レストランはこんな状態



米沢の名物料理



米沢牛のハンバーグ



揚げ鯉の甘酢あん



冷や汁 地元では「ひやしる」と呼ぶ 野菜を茹でて後から味噌で和えて食べる料理



豆腐と米沢のだし



私の庭の秋の花 秋は赤紫の花が多く咲く 彼岸花



百日紅(さるすべり)



紫式部(むらさきしきぶ)



キク科の植物だが名前は分からない



ぐみ 子供頃はよくつまんで食べた



米沢特集(今年4月訪問)

上杉家廟所に向かう



途中の「法音寺」



善光寺如来

法音寺は上杉家歴代藩主の菩提寺

上杉謙信は長野善光寺の仏像、仏具を越後に持ち帰り、その後米沢に移された

地元信州人として、廟所のボランティアに

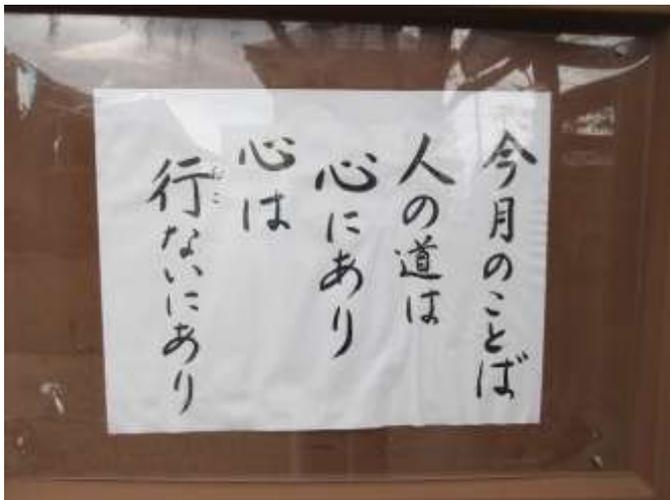
「秀吉は甲斐に持ち出したものを善光寺に返したが、ここは返さないのですか？」と質問

「これは預かっているものですから」と

それ以上は言わなかった



今月のことば



鳥居なのか門なのか変わっている



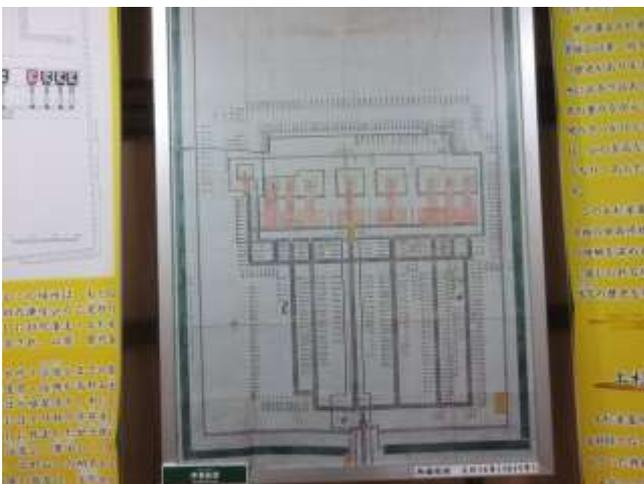
史料館



展示物



当時廟所下の部分は灯籠であったが、神仏分離のためか取り除かれたという
前に紹介した毛利家の廟所は灯籠が残っている



現在廟所

一番奥が上杉謙信

手前の余白部分は灯籠が置かれていた場所



展示物



案内文



平洲椿



配置図



上杉謙信の遺骸

謙信の春日山城跡 新潟県上越市(今年5月訪問)

謙信の遺骸はここに埋葬されたが、会津に移封になったため掘り起こされ会津に移された



案内図



謙信像

信濃、関東を向いている



謙信時代の領土



近くの「林泉寺」

謙信が子供のころに預けられた寺



上杉謙信公の墓(49歳没) 小さな墓だ



上杉景勝



秀吉五大老の一人 会津に移封して 120 万石を拝領



会津鶴ヶ城(2018年8月訪問)



歴代藩主 上杉氏(1598年～1601年)

関ヶ原の戦いの1年後に米沢へ減封



会津鶴ヶ城の謙信公廟所跡

長い廊下を出たところにある

うっかりすると見過ごしてしまう場所



上杉謙信公仮廟所跡 後に米沢に移される



関ヶ原の戦い 1600年

家康が上杉征伐に向かう途中、石田三成が兵をあげている情報が入り引き返す
その間に景勝は山形最上に攻め込む



家康時代の領土

120万石から30万石へ

さらに改易の危機にされされた



さらに 15 万石に



米沢上杉家廟所



上杉家御廟所

奥が謙信公



謙信公の遺骸が眠る



歴代藩主の墓 左側



右側



上杉家 2代 景勝公



上杉家 14 代



右が上杉鷹山公

左が、鷹山の世子(後継ぎ)「顕孝(あきたか)」1776 年～1794 年

家督相続前に天然痘で江戸で死去 19 歳

藩主ではなかったなので少し奥に安置されている



廟所を後にして米沢牛を食べに「吉亭」に向かう

米沢「山懐料理 吉亭」

米沢牛、山懐石料理の店



古い民家を活用



庭

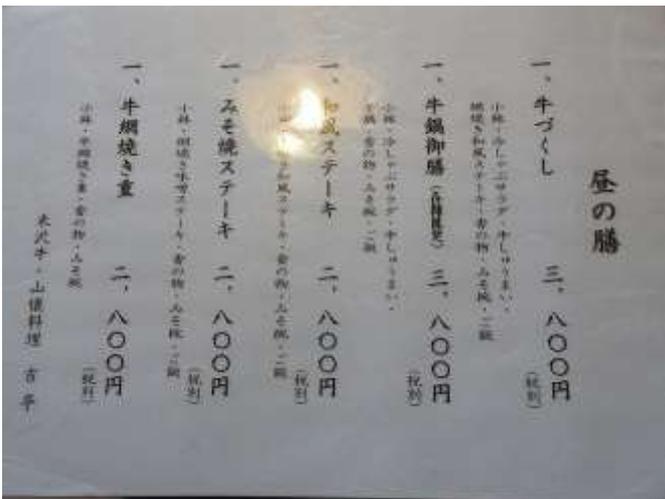


予約を入れておいたので、景色のよい席を確保してくれた

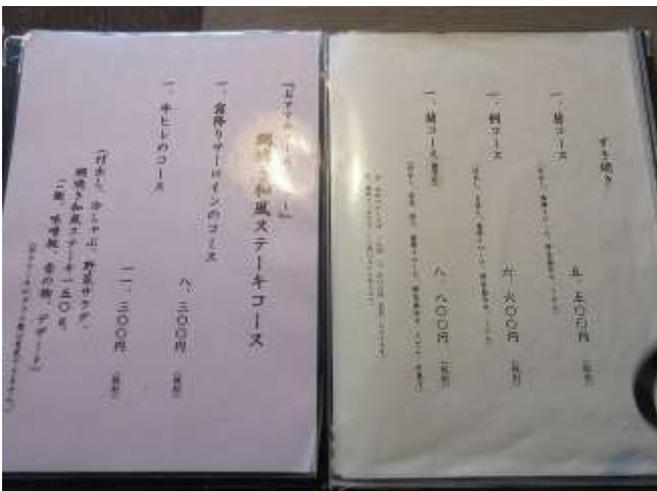


昼の膳

牛づくし 3800 円を注文



定番メニュー すき焼き、ステーキ



小鉢 お浸し



青菜だが何か分からない



ローストビーフ



柔らかく食べやすい



こんな景色を見ながら



牛ステーキ フライドポテト、ブロッコリー添え

色形からしてリブロースかランプ マリナー肉のようにも見える 塩、コショウだけの味付け 噛みしめると旨味があふれ出してくる 私は赤身肉が好きだ



肉焼売



蒸し料理



牛肉がたっぷり



Empty Dishes

デザート、飲料はついていないが、山形牛がこの値段は安い



門から見えるヨークベニマル

スタッフに聞いてみると、この古民家は織物工場の主人の屋敷であったという

奥に見えるベニマルの土地は工場跡だった

養蚕、製糸が廃れ、木綿、羊毛に変わり、さらに化学繊維へと変わっていった時代
夕食を買いに行く



山形の春の味覚
竹の子とおかひじき



「あいこ」 苦みのない山菜

「しどけ」 4月～5月に採れる山菜

鷹山の「かてもの」の時代から食べられているかも

調べてみると、米沢藩は米を備蓄したが、仙台藩は現金化してしまったため多くの餓死者を出してしまった

江戸の飢饉は冷夏だけでなく長雨で作物が育たなかった



GW 限定 彩り弁当



梅ご飯、赤飯、白飯の三色ご飯
安全性を考えればどうしても揚げ物が多くなる



キッズサイズ 10 品目の炒り豆腐 82 円



この商品はスゴイ

具材が 10 種類も入っている



峠の力餅

明治 32 年、福島、米沢に鉄道が開通

峠駅で売られていたという力餅(あんころ餅)



米沢の地元スーパー「キムラ」

企業理念は「キムラは食をとおして健やかな生活の実現に貢献します」



米沢に 8 店舗展開する地元スーパーマーケット

ヨークベニマルは 4 店舗

米沢市の人口は 8 万 1326 人(令和 2 年)

1 店舗 1 万人、人口が減っているだけに、観光客が増えれば店は潤う

地方スーパーネットのコメントで「他のスーパーに置いてないものがある」

と書かれている店は繁盛している

結局、鮮度と品揃えで勝負は決まるということだ



300坪ほどの店



喜多方ラーメン(醤油、味噌、冷し中華)



精肉売場の上段にカット野菜いい提案だ



てっぽう肉 肉の内臓部分



中華ほたて貝ひも 昆布の味噌漬け



イナゴの佃煮



冷凍「ひろしの餃子」



弁当売場 夕方であったため値引きされている



インスタ惣菜 ローカルストアではのインスタ製造のオリジナル惣菜



購入商品梅ひじきご飯弁当 398 円
彩、栄養バランスがよく、季節感もある



キムラオリジナル 焼き味噌おにぎり 128 円 昔懐かしい味 東北地方も定番商品



鶏の梅しそ天ぷら 219 円 この3品は季節の梅、しそを使っている



肉厚いかの塩竜田揚げ 195 円

肉厚のいかを使っている



キムラオリジナル ぜんまい煮 213 円

乾物から戻して煮ものしたもので手間がかかっている



ごま豆腐 2 個 158 円 みたらし団子のような味のするごま豆腐



レモンケーキ 135 円

コーヒープレークにはやはり洋焼菓子



翌日は電車で会津若松に向かう

4 回目の会津だ

まだ見逃している場所があるため